

院内保育所の運営についてのアンケート(集計結果)

資料 1

2010.7.12

I 実施方法

(1) 対象者

国立がん研究センターの全職員

(2) 実施方法

掲示板に掲載し、電子メール又は紙で回収(看護師は看護部で集計)

(3) 回答者数

515 人

II アンケート結果

1. 回答者の属性

(1) 年齢

20 歳台 273 人、30 歳台 157 人、40 歳台 63 人、50 歳以上 22 人

(2) 性別

男 62 人、女 453 人

(3) 職種

医師 20 人、看護師 441 人、研究員 21 人、その他 33 人

(4) 住所

院内宿舎 261 人 (看護師 255 人)、中央区内 38 人、都内(中央区外) 158 人
都外 60 人

(5) 通勤方法

徒歩 272 人、自転車 25 人、公共交通機関 215 人、自動車 3 人

(6) 通勤時間

30 分未満 305 人、30 分以上 1 時間未満 120 人、1 時間以上 73 人

2. 未就学児の有無等

(1) 未就学児の有無

未就学児はいない	451 人
未就学児(3 歳以下)がいる	47 人
未就学児(4 歳以上)がいる	29 人

【内 看護師】

未就学児はいない	408 人	(病棟 386 人、外来 22 人)
未就学児(3 歳以下)がいる	21 人	(病棟 0 人、外来 21 人)
未就学児(4 歳以上)がいる	17 人	(病棟 3 人、外来 14 人)

(2) 3歳以下の未就学児を勤務中に主に世話する者

地域の保育所	30人
配偶者	11人
中央病院の院内保育所	5人
親族（配偶者以外）	2人
ベビーシッター等の民間保育サービス	2人
保育所以外の自治体の保育サービス	1人

(3) 未就学児がいない方の子育て意向

環境・条件が整えば、将来の結婚・出産により働きながら未就学児を子育てする希望・予定がある	231人
環境・条件が整っても、将来働きながら未就学児を子育てする希望・予定はない	139人
無回答	6人

3. 子育て環境における院内保育所の役割

充実したサービス内容の院内保育所があれば、働きながら子育てをしよう（さらに多くの子育てをしたい）と思う	352人
思わない（院内保育所以外の要因が大きい等）	74人
無回答	24人

4. 中央病院の院内保育所である「どんぐり保育園」の利用

利用するつもりはない（保育サービスの内容如何に関わらず利用しない）	138人
将来利用する可能性がある（保育サービスが改善されれば利用したい）	191人
将来利用する可能性がある（現状の保育サービスでも利用したい）	52人
現在利用している	9人
無回答	24人

5. 院内保育所のサービス内容の改善希望

(1) 園児の対象年齢

4歳以上の未就学児も対象にして欲しい	223人
今のままで良い（生後57日から3才まで）	61人
無回答	34人

(2) 保育所の利用時間

24 時間保育を実施して欲しい	136 人
休日にも保育を実施して欲しい	110 人
閉園時間を延長して欲しい	76 人
開園時間を早くして欲しい	40 人
今のままで良い (午前 7 時 40 分から午後 7 時、土・日・祝日は休園)	39 人

【開園時間】 6 時 3 人、6 時半 3 人、7 時 28 人、7 時半 4 人

【閉園時間】 18 時 1 人、19 時 7 人、19 時半 2 人、20 時 25 人、21 時 18 人、
22 時 3 人、23 時 1 人、24 時 1 人

(3) 実施を希望するサービス

必要なときに一時的に預かってもらえるサービス	161 人
病児保育サービス	126 人
夜間だけ預かってもらえるサービス	77 人
今のままで良い (毎日日中の利用)	42 人
その他	4 人

6. 自由記載

(主な意見)

- ・はじめから 24 時間保育は無理とは思いますが、病棟で働かざるを得ない環境なのに夜間保育がないのは今後考えると辛いです。週 1 日 2 日でも曜日を決めて夜間保育を実施していただけると夜勤を続けるママナースは増え続けるのではないのでしょうか。
- ・24 時間保育、休日保育、病後児保育、就学までのサービスの充実が図られれば、安心して子育てしながら働き続けられると思います。
- ・利用時間がフレキシブルに対応してもらえると良い。
- ・もし一時的に預かってもらえるサービスができた場合、受診する患者さんや面会する家族の皆さん (3 才くらいまで) にも間口を広げられると、病院のサービスの PR になるのではないのでしょうか。
- ・院内保育は利用しませんでした。3 才児までで、それ以後みてもらえないため、途中から移動が難しいと考えたからです。
- ・保育料は現行のままでよいが、よりよいサービスになれば引き上げは仕方ない。
- ・保育所の充実はもちろん必要だが、当院の難点は通勤に時間がかかること。近隣の家賃が高すぎるため、若い夫婦が払える範囲では、住居は片道 1 時間はかかる地域となり、保育所の条件云々よりも前に結婚予定者や既婚者の多くは退職していると思う。

自由記載

24 時間保育

- ・ 24 時間保育などできたらよい
- ・ はじめから 24 時間保育は無理とは思いますが、病棟で働かざるを得ない環境なのに夜間保育がないのは今後考えると辛いです。週 1 日 2 日でも曜日を決めて夜間保育を実施していただくと夜勤を続けるママナースは増え続けるのではないのでしょうか。
- ・ 24 時間保育、休日保育、病後児保育、就学までのサービスの充実が図られれば、安心して子育てしながら働き続けられると思います。
- ・ 病棟で仕事をしていきたいと考えると、夜間も預かってもらえたら子供ができて働けると思う。
- ・ 看護師が利用するには 24 時間保育が必要。今のままでは「夜勤は出来ない」と言わせているようなもの。今は子育てしながらキャリアアップ出来る環境ではないと思う。
- ・ 保育園の保母さんの人数を増やし、勤務体制を整えた上で、早朝から夜間まで見てもらうことができたら良いと思う。
- ・ 三交替勤務では、子育てはとても難しい。中央区の病院であることを考えると通勤に、1 時間以上もかかる場合が多い。家賃が病院の近辺は高価である。24 時間保育は必要であると思う。
- ・ 現在の保育所の運営時間では外来勤務の人しか利用できない。24 時間運営でないと病棟勤務は無理です。(4 名)
- ・ 夜勤があるなら、24 時間保育が当然だと思います。がんセンターで働きたくても将来を考えて辞めていく人はたくさんいると思います。
- ・ なかなか、近隣の保育園の入園が難しい状況があるので子供ができたなら、辞めざるを得ない。24 時間保育があれば看護師の離職率は下がると思います。24 時間対応で病気の際にも預けることが出来るような環境にしたいです。
- ・ 24 時間保育による看護職員の継続勤務が可能となりやすいと考えます。夜もみてもらえると会議や勉強会に参加、夜勤もできると思う。発熱等急な体調不良の場合、当院に受診してそのままみてもらえると勤務者が減ることはない。
- ・ 24 時間保育を強く希望します。(6 名)
- ・ 夜勤も預かって欲しい
- ・ 夜間や土日、祝日も預かってもらえると助かるが、それが元で夜勤や休日出勤を強いられるのはつらい。ワークライフバランスは個人によって違うので、あくまでも個人の希望に合わせた幅広い対応をしてほしいです。
- ・ 他の施設でも 22 時まで開園しているとか、24 時間保育を目指しているとかいう話をききます。フルタイムや夜勤勤務のある職場では有難いことなのかもしれませんが、親の立場として、子どものことを考えると、そこまでして働かなければならな

いのかという気持ちがあります。遅くまで開園していれば預けて仕事ができるようになるため、そうせざるをえない状況になります。本当は、せいぜい 19 時までの現在の保育時間のままで、それに合わせた勤務ができるように職場の理解、協力が得られるのが理想だと思っています。

一時的保育

- ・利用時間がフレキシブルに対応してもらえると良い。
- ・保育園でもスタッフの研修日などでお休みがあります。よって、難しいとは思いますが、一時保育を院内でお願いできると大変助かります。
- ・もし一時的に預かってもらえるサービスができた場合、受診する患者さんや面会する家族の子ども（3才くらいまで）にも間口を広げられると、病院のサービスの PR になるのではないのでしょうか。
- ・会議で国がんに来られる方から、子どもを一時的に預かってもらえる場所があると助かる、という声を聞きました（あくまで第 1 優先は職員の子だとは思いますが）。
- ・一時保育サービスと病児保育サービスがあると助かります。通常は自宅近くの保育園に通い、緊急時（保育園の休日や病気で預かってもらえない時）に職場内の保育所を利用できればうれしいです（病気の子をひきつれて公共交通機関で通勤できるかどうかは不明ですが）。
- ・利用者を増やして安定的な運営を行うためには、職員家族だけでなく、例えば、がんセンター受診患者家族も対象に広げて、一時預かり保育サービス等を行うと喜ばれるのではないのでしょうか。
- ・一時保育については幼稚園が夏休みの時などに一時預かっていただければ、仕事をすることが可能です。先日も妻に病院から復職依頼がありましたが、幼稚園が夏休みの時に、上の子供達の面倒を見る人がいないので、お断りしました。保育人数に限りがあるとのことでしたが、福利厚生の方から考えれば、例えば、夫婦ともに当センターの勤務者の児童を優先するなどの対応も必要ではないのでしょうか。

延長保育

- ・時間を延ばせばよいと思う。
- ・遅出勤務や夕方の勉強会などにも参加できるような閉園時間（20 時頃）だと助かると思います。
- ・遅番があるので保育時間の延長をしてほしい。（2名）
- ・時間外は割増金額でもよいので、お願いしたい。
- ・時間延長と同時に、必要な時には夕食も是非提供してほしい。
- ・夜 19 時まで開園していただければ、大変利用しやすいと思います。また、土曜日は預かっていただけないこと、3 月 31 日も預かっていただけないことが不便でした。
- ・現在利用しておりませんので、現状について詳しくありませんが、それなりの速度で

研究を展開させるのに必要な時間を考えると、12 時間程度預かって頂けると助かります。

- ・ 保育時間について、勤務時間の前後 30 分までしか認められず、私の妻は非常勤であったため、保育時間も通常より短かったのですが、保育料は同じでした。これも互助会の補助を受けているから、常勤と非常勤で差をつけているとのことでしたが、同じ待遇にすべきだと思います。
- ・ 急な会議が 17 時以降に入るのは日中診療を行っているこのようなセンターではざらですが、そのような場合、幼児のいる親（特に母親）は必ず欠席となってしまいます。そもそも、夕刻以降の会議の設定が、子育て家庭では現実的でなく、子育て支援を標榜しているセンターとしては避けていただきたいのですが、遅い会議時間の設定がやむを得ないのであれば、当然保育所の時間を対応できるように長く設定すべきです。

休日保育

- ・ 土日も預かってほしい。
- ・ 病児保育サービス、土日祝日の一時保育サービスを、是非実現して頂きたいです。
- ・ せめて土曜も開園していると随分助かる。
- ・ 自分の子供は現在高校 3 年生ですが、未就学児の時、土日や長い時間見てもらえず苦労した経験がありますので、可能であれば土日や長い時間面倒をみてもらえる体制が整っていると安心して仕事に集中できると思います。